

## 林業技術センターにおける平成22年のヤマブドウ糖度上昇経過

### 1 はじめに

ヤマブドウは糖度を基準にして収穫時期が決められているため、糖度を予測できると収穫スケジュールが立てやすくなると考えられます。そこで、糖度予測式を作成するために、平成22年度も当センターにおけるヤマブドウ（涼実紫1号～5号）の開花日と糖度上昇経過を、平成20年及び21年に引き続き調査しました。

### 2 調査方法

当センター内ヤマブドウ原種園において、5月下旬から毎日開花確認調査を行い、8月5日から10月28日まで7日毎に糖度測定調査を行いました。

糖度測定方法は、技術情報No.43と同様です。なお、糖度測定に用いたのは各品種7～8樹の合計31樹です。

### 3 結果

#### 開花時期

6月4日から咲き始め、6月9日には全ての調査木で開花を確認しました。（表1）開花時期は平成21年と比べて10日程度遅れていました。

#### 糖度上昇経過

各品種とも8月中旬から糖度の上昇が始まり、いわゆるS字カーブを描きました。また、平成20年及び21年と同様に、調査期間のほぼ全てで涼実紫1号の糖度が最も高く、涼実紫5号は最も低い傾向が見られました。（図1）

涼実紫1号は、平成20年と21年の中間程度の糖度で推移しました。（図2）

涼実紫4号では、糖度の立ち上がり時期が少し遅れ、途中段階では平成20年と比較して低い値で推移しましたが、最終的には同程度まで上昇し（図3）、この傾向は涼実紫2号、5号にも見られました。

#### 果実の着色経過

各品種とも8月中旬頃から色づきはじめ、9月中下旬頃に、色づきが完了しており、平成21年に比べて少し遅れが見られました。

表1 開花確認したヤマブドウ樹本数の推移

月日	1号	2号	3号	4号	5号
6/3	0/8	0/8	0/8	0/7	0/8
6/4	0/8	6/8	6/8	0/7	0/8
6/5	0/8	7/8	7/8	0/7	0/8
6/7	8/8	8/8	8/8	5/7	5/8
6/8	8/8	8/8	8/8	6/7	7/8
6/9	8/8	8/8	8/8	7/7	8/8

表中の数字は「開花確認本数/調査本数」

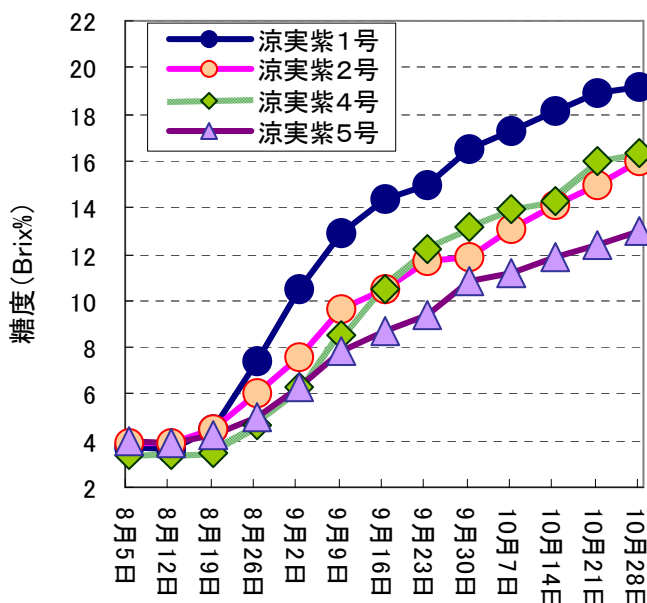


図1 涼実紫の糖度上昇経過

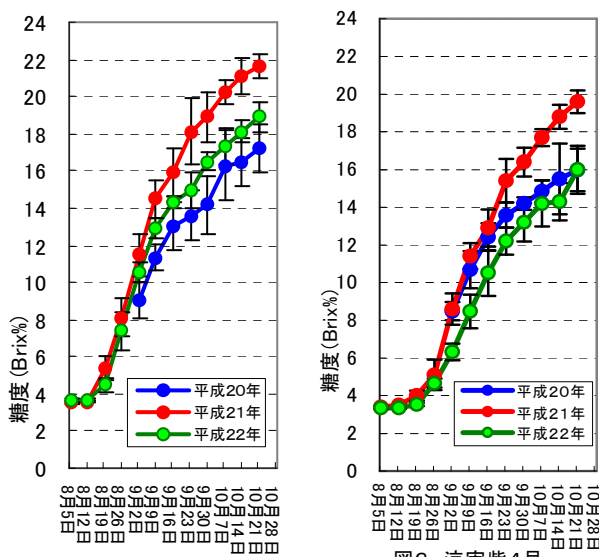


図2 涼実紫1号

図3 涼実紫4号

(担当 研究部 上席専門研究員 菅原誠司)

連絡先

〒028-3623

岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11  
 岩手県林業技術センター  
 ホームページアドレス：<http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>

Tel 019-697-1536  
 Fax 019-697-1410